

「介護助手」制度導入で 多様な人材の社会参加 を応援します！

「介護助手」の業務内容

「無資格」「未経験」
の方でも大丈夫!!



「介護助手」導入の目的

超少子高齢化社会をむかえ、高齢者の増加と生産年齢人口の減少が深刻化する現在、あらゆる産業において人手不足が問題になっています。中でもとりわけ福祉・介護の業界においては、裾野を広げた人材確保について、発想の転換も含めた新たな取り組みが必要とされています。

こうした中、柔軟な働き方ができ、多様な人材が活躍できる「介護助手」という働き方が注目されています。

具体的には、これまで介護職員が一体的に担ってきた業務内容を洗い出し、その中でも利用者との直接の関わりが比較的少ない、補助的な業務を「介護助手」が担うことで介護職員が専門的な業務に専念できる環境をつくり、より質の高い介護サービスの提供や、就労環境の改善ができる職場を増やし、介護人材の確保・定着に繋げていくことを目的としています。

また、地域の元気なシニア世代や、子育て世代、学生等を介護助手として採用することで、多様な地域住民の社会参加を推進し、生きがいや心身機能の維持に繋がっていくことも期待されています。

「介護助手」として 就労が期待される人



「介護助手」導入3つのメリット!!

- ①「自分に合った時間で働ける」
- ②「健康維持」につながる
- ③「地域社会」に貢献できる



「介護助手」とは？



福祉・介護の現場で働く有資格者が、専門性の高い業務に専念できるようサポートをする役割を担います。

主に、施設内の清掃やシーツ交換、送迎車両の運転手など、比較的身体への負担が少ないお仕事です。

10月からコロナワクチンの接種が始まります

☎ 保健医療課 ☎ 0823-43-1639

コロナワクチンの接種の位置付けが、「特例臨時接種」から「定期接種」となったことから、接種費用の一部を負担していただくほか、接種券が発行されないなど、これまでの接種と異なる点がありますので、注意してください。

- ▶対象者 65歳以上の方
60歳から64歳までの基礎疾患を有する方※下記参照
- ▶接種券 発行されません
- ▶自己負担額 3,200円
- ▶接種時期・回数 10月～3月の間で1回のみ
- ▶接種場所・予約 10月号でお知らせします



ワクチン接種の目的

コロナワクチン接種の目的は、発症予防と重症化予防、まん延防止です。

新型コロナウイルスは現在も変異を繰り返しており、すでに感染したことがある方や、新型コロナワクチンを接種した方でも、新しい変異株に再感染する可能性があります。

そのため、流行に対応したワクチンが作られており、令和5年秋接種では、XBB.1.5株に対応したワクチンが使用されましたが、今回は、JN.1株に対応したワクチンが使用されます。

接種の効果と副反応

ワクチン接種より、痛みや発熱などの副反応が現れることがあります。

しかし、感染した場合に重症化しやすい高齢者にとっては、ワクチン接種による利益（発症予防・重症化予防）が、副反応などのリスクを上回るとされています。

ワクチンを接種するには

ワクチン接種ができる医療機関の一覧は、10月号でお知らせします。
予約開始日や、接種スケジュールは、医療機関によって異なります。

ご注意ください

- ・接種券は発行されません。
- ・接種は、期間内に1回のみです
2回目以降は、全額自己負担（15,300円程度）になります。
- ・保険証をご持参いただき、肩を出せる服装でお願いします。

※「基礎疾患を有する人」とは、心臓、腎臓または呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する方およびヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する方を指します。

